

公益社団法人全国産業廃棄物連合会

低炭素社会実行計画改定

のお知らせ

(公社)全国産業廃棄物連合会(以下、「全産連」と略記)では、地球温暖化対策を中心とする「低炭素社会実行計画」を平成29年5月に改定しました。主な改定内容は、下記のとおりです。

今後、各都道府県協会及びその会員企業とともに計画を推進してまいります。

また、計画全体の進捗状況の点検を行うとともに、適宜、見直しをいたします。



産業廃棄物適正処理のマスコット
「てき丸君」

2030年度目標の策定

会員企業からの「温室効果ガス排出量」を対象とし、基準年度(2010年度)に対する2020年度目標に加え、新たに2030年度目標を設定しました。

【全体目標】

- 会員企業からの温室効果ガス排出量を、全体として基準年度(2010年度)に対し、**1割削減(-10%)**
- 目標達成は、2028年度～2032年度の5年間の排出平均値で評価

【業種別目標】

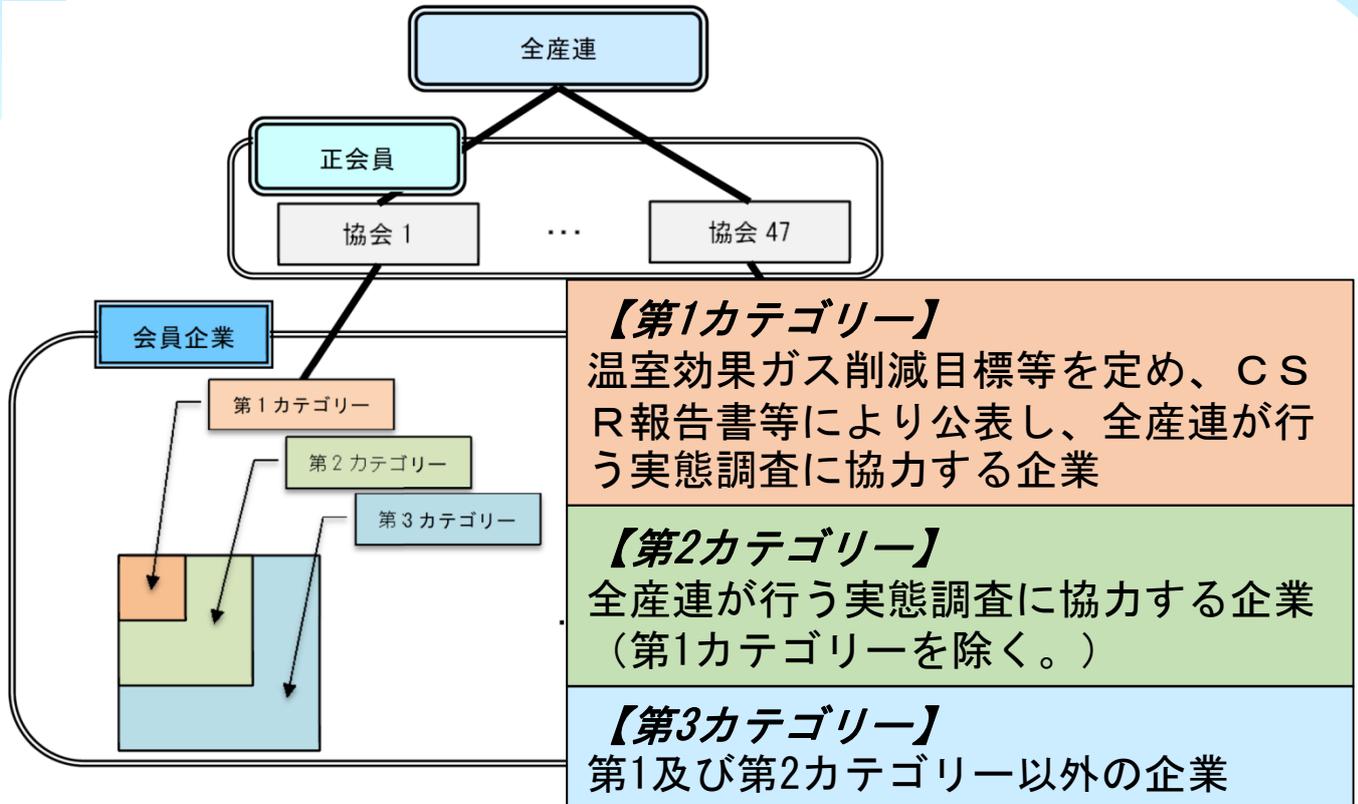
- 収集運搬業の会員企業では、温室効果ガス排出量を全体として基準年度に対し、**燃費で10%改善**
- 中間処理業の会員企業では、温室効果ガス排出量を全体として基準年度に対し、**焼却に伴う発電量及び熱利用量をそれぞれ2倍**
- 最終処分業及び業務部門では、各削減対策を中心に取組を推進



カテゴリー分け

全産連と正会員との連携を強化するため、会員企業のカテゴリー分けを行うこととしました。

今後、第1カテゴリーの会員企業ではより公的な支援を受けやすい仕組みを検討する予定です。



温室効果ガス排出削減対策

各業種の特徴を踏まえた対策例は、以下のとおりです。

今後、対策の実施が企業経営にとって利益につながることを目指すとともに、中小企業が多数を占める業界であるため、対策への公的な支援の拡充を求めていく予定です。

対策例	
中間処理業	焼却時に温室効果ガスを発生する産業廃棄物の3R促進
	産業廃棄物焼却時のエネルギー回収の推進
	温室効果ガス排出量を低減する施設導入・運転管理
最終処分業	準好気性埋立構造の採用・発生ガスの焼却処分
	適正な最終処分場管理
	生分解性廃棄物の埋め立て量の削減
	最終処分場周辺地及び最終処分場跡地の緑化・利用
収集運搬業	収集運搬時の燃料消費削減
	収集運搬の効率化・最適化
	バイオマス燃料の使用
業務部門	省エネルギー行動の実践
	省エネルギー機器の導入